

様式第3号(第4条関係)

会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称 第4回丹波篠山市総合計画審議会
- 2 開催日時 令和7年6月30日(月) 10時00分から12時00分まで
*受付時間(9時45分から9時55分まで)
- 3 開催場所 丹波篠山市役所本庁舎3階301会議室
- 4 会議に出席した者の氏名
 - (1) 委員 中塚 雅也、横山 宜致、森本 秀樹、田代 優秋、山田 俊朗、前田 公幸、大前 裕樹、今井 めぐみ、小田垣 昇、藤本 清仁、小川 昌秀、
廣瀬 章江、安部 梨杏、西田 正志、西尾 雅子
(敬称略・順不同)
 - (2) 執行機関 竹見 聖司、藤田 尚位、中瀬 文隆、西尾 友寛
- 5 傍聴人の数 0人
- 6 議題及び会議の公開・非公開の別 公開
- 7 会議資料の名称
第3次丹波篠山市総合計画後期基本目標各論(案)について資料1、資料2
第3次丹波篠山市総合計画後期基本計画 総論について資料3、資料4
用語解説について資料5
- 8 審議の概要
 - 1.開会
 - 2.協議事項
 - (1) 第3次丹波篠山市総合計画後期基本目標各論(案)について
(会長)

第4回ということで、実質的には最終になるかと思う。2時間ばかり時間を頂いており、議論を頂きたい。では資料1、2について、説明をお願いする。

(事務局)

※事務局より資料1、2、基本目標1の主な変更点を説明※

(会長)

それぞれについて、この修正事項で良いかどうか協議できればと思う。

(A委員)

資料2のPI4基本目標1-3-2の主要な取り組みの概要の(市民・事業者と行政の協働の役割)の丸1つ目、「管理者に連絡をお願いします」とあるが、「管理者に連絡を行い、安定した維持体制づくりを進めます」という表現で良いのではないか。

(事務局)

記載を検討させていただく。

(会長)

資料2のP2基本目標1-1-1の地域おこし協力隊の成果指標について、目標が100%になっているが、起業をした後、3年間定着をしているかどうかというのは、協力隊の資質によるというか、その人によるところも大きいと思う。これはそうなるように行政の制度とか、まち協とかが支援することによって定着率を高めていきたいと思いますというような理解で良いか。

(事務局)

はい。その通り。

(B委員)

資料2のPI5基本目標1-3-3の成果指標で地域公共交通の利用者数について、鉄道の利用者数が9,540人で、目標が7,900人で減っている理由はなにかあるか。

(事務局)

この目標については、地域公共交通計画にも記載している目標で、その目標に合わせている。減っている理由としては、今後想定される人口減少とか、生活スタイルの変化等を踏まえて目標を設定している。

(C委員)

下がるということは予想できるが、目標は上げるものだと思う。下げるなら注意書きとかを書いて良いのではないか。

(会長)

この小目標で目指すことの文章で、利用者数が減っているが、維持するという文章があっても良いと思う。

(事務局)

注釈ではなく、この小目標で目指すこととか、現状と課題というところに、記載を検討する。

(会長)

9,540人が7,900人になるという説明をもう少し加えるとともに、この目標数値が、地域公共交通計画に基づくと書いた方が良いと思う。全体的に、その根拠になっているものがあるならば、そこからの転載とか、そういうことも付けくわえた方が良いと思う。では次、基本目標2に移る。

(事務局)

※事務局より基本目標2の主な変更点を説明※

(会長)

資料2の成果指標に「調べ」という言葉が記載されているところがあったり、ない箇所もあるがこの違いは何か。書くなら全部書いた方が良いと思う。

(事務局)

表記は統一した方がよいと思うので、内部で調整する。

(D委員)

資料2のP34基本目標2-2-3のジェネリックの話で、国の指標が80%ということで、丹波篠山市では81.6%となっており達成されているとなっている。これはそれ以上、推進しなくても良いということなのか。国の指標はそうになっているが、せめて現状を考慮した数値にしても良いのではないか。

(事務局)

再度担当課と調整する。

(D 委員)

P18の成果指標の「ふくし総合相談窓口の相談件数と終結割合」は下がっているが、問題は困難な事例が増えてきて、一件一件の相談支援が非常に難しくなっている。そういったところも書いておいても良いかもしれない。

(事務局)

再度担当課と調整する。

(E 委員)

資料2のP42基本目標2-4-1の成果指標について、前回はこの小目標で目指すことのリード文を受けての指標だったかと思う。担当課と調整した上で、この成果指標になったという理解で良いか。

(事務局)

担当課と調整し、この成果指標を設定した。

(E 委員)

基本的にこれで良いと思うが、これも非常に曖昧なところがあって、数値化することは難しい。主体的で対話的な深い学びという成果指標があれば一番良い。

(事務局)

教育振興基本計画にもこの指標を検討しており、一人一台端末の活用が進展する中、一人一台端末を効果的に活用することで、個別最適な学びと共同的な学びの一体的な充実を図る指標としてこの指標を挙げている。

(E 委員)

この指標について、5年の基本目標に耐えうるかというのは、非常に難しいところがあると思う。最近はこれだけで良いのかという話もある。例えば子どもたちの文章を書く力が、これを進めることによって、課題になっているという話もある。この指標で良いと思うが、そういう状況もある。

(F 委員)

同じP42の一つ目の成果指標の「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う児童生徒の割合」について、85.1%の現状に対して85%に下がっている。全体的に現状から目標が下がっていることに、違和感がある。

(事務局)

担当課と調整した結果、80%がある程度の合格ラインとしているため、このような目標に設定している。

(F 委員)

せめて85.1%とかで現状を維持するという目標値で良いのではないかと。下がって良いという目標ではないと思う。

(会長)

それに関しては、全体を通して、目標値の小数点を入れるのか入れないかを決めた方が良いと思う。小数点以下は目標に入れないとか全体的に統一した方が良い。また、現状より下げた方がいいものの中にはある。

ただ、委員おっしゃるように現状維持よりかは上げる目標が良いと思う。下げるなら下げる理由をしっかりと記載すべきかと思う。

(E 委員)

この指標で意識しないといけないのが、全国学力調査なので、全国の平均値、兵庫県の平均値、丹波篠山市の平均値がある。その中で目標値の85%が適切なかの確認が必要である。

(事務局)

現状維持、数値を下げるというものに関しては、全体的に整理する。

(会長)

では次、基本目標3に移る。

(事務局)

※事務局より基本目標3の主な変更点を説明※

(G 委員)

資料2のP61基本目標3-3-1の現状と課題の丸3つ目、「偏りがあるので、1年を通して市内各地への誘客が求められます」と記載してあるが、受け入れ体制が整っていない状態で、誘客を求められているという表現に違和感がある。「広域観光を促します」みたいな表現で良いのではないかと。P65の3-4-1のこの小目標で目指すことについて、2行目の「若い女性」は適切か。若い世代や外国人観光客という表現で良いのではないかと。

(事務局)

P61の現状と課題の丸の3つ目について、偏りがあるということが課題だと思うので、そのあたりを明確に書くよう調整する。

また、女性という表現については、地方創生2.0基本構想に「若者や女性の地方離れ」という表現もあるため、この表現を残している。

(会長)

偏りが多いという課題と、何でも良いので誘客を増やすのではなくて地域のニーズに応じた観光を進めていきましょうというご指摘かと思う。そのあたり検討していただきたい。

(H委員)

若い女性という表現は古いと思う。女性は別につけなくて良いのではないか。

(会長)

若い世代とかで良いと思う。

(事務局)

承知した。

(I委員)

資料2のP57基本目標の3-2-1の成果指標の黒大豆・枝豆の栽培面積について、現状から比べて減っているが、これは放置していくともっと減っていくと思う。それをこれぐらいに抑えたいという目標かと思うので、これで良いと思う。

(会長)

はい。この点について、もう少し「減っている」という文章を増やしても良いと思う。では次、基本目標4に移る。

(事務局)

※事務局より基本目標4の主な変更点を説明※

(会長)

P76の3つ目の成果指標について、目標に前年度以上という目標がある。これは適切か。

(事務局)

教育振興基本計画に示している目標と同じであり、前期基本計画の他の目標でも「前年度以上」にしている目標もある。

(会長)

数値が入っていないのは適切でないと思う。

(E 委員)

成果指標を全て数値化するのは難しい状況にあり、数値化するのが難しく、前年度以上とする部署がある。この場でこれが不適切であるということであれば、もう一度再考したら良いと思うが、教育委員会では認めてきた経緯はある。

(事務局)

担当課と調整する。

(G 委員)

さぎそうホールの稼働率とかは目標対象にならないか。

(事務局)

すべてのホールをここで掲載するということは難しい面もあり、交響ホールをベースに記載している。個別計画があるので、そこでその数字は確認していきたい。

(会長)

では次、基本目標5に移る。

(事務局)

※事務局より基本目標5の主な変更点を説明※

(F 委員)

LINE登録者数について、市内の世帯数が17,000くらいあると思うが、そこが目標だと思う。現状が7,800人から8,000人という目標は、少ないと思う。

(事務局)

担当課と調整させていただく。

(会長)

80ページの成果指標について、「15%程度」とか「90%台前半」などの表現は明確ではないため、適切でないと思う。「15%」、「90%」が良いのではないか。目標なので、90%が難しいのであれば再度計算しなおして、明確にする必要がある。

(事務局)

承知した。担当課と調整する。

(F 委員)

目標は数字で統一しても良いのではないか。総合計画では数値にするというように統一して良いのではないか。

(事務局)

個別計画とズレが出てくる事態になることも想定される。

(会長)

それはどこかできっちり考えないといけないと思う。指標は目標としてすごく大事だと思う。何もかも数値化が正しいわけではないが、表せるものは数値で表し、表せないものは表せないで整理したら良いと思う。指標に関しては、インプットと現状とアウトプットがあって、これやりますという数字と、その結果こうなりますという数値は全然違う。政策としてこれやりますっていうのがインプットで、現状この数字になりましたという数字と、その結果、満足度がどうになりましたかっというのは、違う種類の指標だと思う。今後の政策を進める上で、そういった指標の作り方がすごく大事だと思うので、今すぐは難しいと思うが、指標の作り方の統一見解みたいなものを整理すべきである。

(事務局)

承知した。

(D 委員)

資料 2 の P82 基本目標 5-2-2 の現状と課題について、職員の早期退職が増える中、業務自体が専門性を持つ業務になっており、専門性を磨く勉強の機会が少なくなっていると思う。また、憶測だが、そういった専門性を職員に委ねているため、中堅職員が退職している課題に繋がっていると思う。

(会長)

書けるかわからないが、市民目線で、もっと信頼される市役所、市職員をめざすと書いてあるため、市役所職員の職務満足度というか、仕事の満足度とかはどうか。すごく大事な指標だと思う。調査しないとイケないが、それでも調べておいた方が良いと思う。今回書けなくても絶対やっていった方が良いと思う。

(E 委員)

P83の主要な取り組みの概要の最終行に「ハラスメント」の事が書いてあるが、現状と課題の記載が、「職員が頑張れ」というような印象に見える。市民には見えにくいかもしれないが、業務も非常に多くなっていることは確かで、市民目線で書くのであれば、不当要求とかカスハラも、市民として適正に行っていくという記載があっても良いと思う。

(事務局)

ご指摘のように、このタイトルが「もっと信頼される市役所、市職員をめざす」ということであり、悪い状態ところから入っているようなタイトルになっている。これを後期基本計画でどこまで直していくかということは、難しいが、丹波篠山市に限らず、職員採用募集をかけてもなかなか人が来てくれないことや応募があっても倍率が下がっているということで、非常に厳しい状況は、受け止めないといけないと思う。行政職員も市民の皆さんにとって宝だというふうに思っていただけのように、職員も頑張らないといけないし、市民の皆さんにも、職員をある意味育てていただけるような書き方に少しでも近づけたいと思う。

(C 委員)

タイトルの「もっと」がいらぬのではないか。

今チャット GPT や AI の活用も主流になっている。そういったものをうまく活用して、仕事の量を減らして、その人たちに心の余裕を持てるような時間を作るっていうのは、すごくこれから大事だと思う。

(F 委員)

市民から信頼されるというよりは、職員がもっと楽しくワクワクできる市役所を目指すという方が、良いと思う。自分たちが楽しい職場を作っていくというタイトルに変えてしまった方が良いと思う。

(事務局)

DX や AI のことについては、施策の展開の方向の 4 つ目に、少し記載をしているが、担当課と調整させていただく。

(会長)

全体をとおして、やりがいがある職場を目指すというニュアンスを加える必要がある。今調べられるかわからないが、職員満足度はすごく大事なことで、みんなが満足できる職場を目標として設定しつつ、上げていくことが離職を止める方法だと思う。一方で専門性を持っているとか、大学なら修士を持っているとかはわかりやすい指標だと思うので、そういうのも増やしていくのが大事だと思う。再度ここは検討いただきたい。

では次、基本目標 6 に移る。

(事務局)

※事務局より基本目標 6 の主な変更点を説明※

(B 委員)

資料 2 の P84 基本目標 6-1-1 の成果指標について、資料 1 では日本農業遺産をいかしたまちづくり補助金活用件数になっていたが、資料 2 では黒大豆・枝豆の栽培面積に変更になっている。黒大豆・枝豆の栽培面積は基本目標 3-2-1 でも出てきている。日本農業遺産をいかしたまちづくり補助金活用件数の方が良いのではないか。

(事務局)

担当課と調整した結果、主要な取り組みの概要に、「丹波篠山の黒大豆栽培」をとおして、歴史、技術、環境を次の世代に引き継ぎます」という記載にしているので、栽培面積の方が馴染むのではないかということになった。

(B 委員)

基本目標 3-2-1 の方は、頑張っこの数字までに抑えるという文面の中で、その指標は馴染むかもしれないが、この指標は資料 1 に記載している指標で良いと思う。

(事務局)

担当課と調整する。

(H 委員)

日本農業遺産に、「食」は入れなくて良いか。

(A 委員)

「食」の視点は大事だと思う。

(会長)

「食」の文化は大事な視点だと思うので、検討していただきたい。

(事務局)

承知した。

(2) 第 3 次丹波篠山市総合計画後期基本計画 総論について

(会長)

では次、資料 3、4 に移る。

(事務局)

※事務局より資料 3、4 の主な変更点を説明※

(D 委員)

資料 3 の丹波篠山市を取り巻く環境の変化について、市の状況として、高齢者数はここ 1 年、2 年で下がっていると思う。一番問題になるのが後期高齢者というか、75 歳以上の介護とか医療が必要な方々の対応だと思う。そういった丹波篠山市での状況を記載すべきかと思う。

(事務局)

承知した。

(J 委員)

書き方の話ですが、資料 3 の P2 に丹波篠山市の課題と方向性の記載があり、P6 の「3. 基本計画の推進に向けて」に「ここでは、(先述の)“丹波篠山市を取り巻く環境の変化”で示した課題や取り組みの方向性を踏まえ」と書いてある箇所がある。ここは重複していると思うので、統一すべきかと思う。

(事務局)

丹波篠山市の方向性は P6 に記載するよう検討する。

(C 委員)

資料 3 の P13 基本目標 2 の小目標のタイトルが、資料 2 と合っていない。

(事務局)

修正する。

(G 委員)

資料 3 の P12 のシンボルプロジェクトの中で、東の玄関口の活性化というところがあまり出てこなかったと思う。

(B 委員)

全体的にシンボルプロジェクトだけが浮いていると思う。計画とあまりリンクしていない気がする。

(会長)

基本的にシンボルプロジェクトは各論の横ぐしの役割をなしていますが、ご指摘の通り、東の玄関口の記載は弱いかもしれない。

(事務局)

検討させていただく。

(A 委員)

P3 の農業・農村の記載について、他の取り巻く環境の変化の記載と比べて字数が多い気がする。少し詳しく書き過ぎていると感じる。

(事務局)

他の記述のボリュームとバランスを見比べながら、まとめていくよう調整する。

(B 委員)

前期基本計画は、序論があって本論があると思う。それを変えるのか。

(事務局)

構成については、基本的に変えない。ただし、基本構想の人口の見通しや財政の見通しは変える予定。

(3) 用語解説について

(会長)

では次、資料5に移る。

(事務局)

※事務局より資料5の主な変更点を説明※

(C 委員)

総論のP4 持続的発展計画のところの「リソース」だったり、「シビックプライド」だったり、片仮名を入れないといけないものなのか。片仮名をあえてたくさん入れなくても良いのではないか。

(会長)

大事な言葉なら、必要だと思うが、別に入れなくて良いのであれば、あえて片仮名である必要はない。

(B 委員)

アンコンシャスバイアスも日本語で言えば良いと思う。

(事務局)

地方創生 2.0 基本構想が出ているが、片仮名書きの言葉が多くなっている。ただ、今おっしゃられたように市民の方が見ていただいて、分かりやすい表現というのは一番大事だと思う。どうしても片仮名にしなければならない部分については、解説を入れるというふうなことで、整理していきたい。

(I 委員)

資料 5 の丹波篠山国際博の説明について、一番の目的が、私たちの美しい農村を未来につないでいく、ということが目的なので、「国内外の方々に知っていただき、私たちの美しい農村を未来へつないでいけるよう」とに変更していただけたらと思う。

(G 委員)

スマート農業も説明書きに加えても良いと思う。

(事務局)

承知した。

(F 委員)

用語解説は、出てきた用語の順番に合わせて並べる予定か。あいうえお順でも良いのではないか。

(会長)

他の自治体も参考にしながら検討していただきたい。

(事務局)

分かりやすい方法を検討させていただく。

9. その他

(事務局)

※事務局より今後のスケジュールと資料送付について説明※

10. 閉会

横山副会長あいさつ